

開 会 行 事

あいさつ

第42回九州ブロック社会教育研究大会宮崎大会 実行委員長 森山 喜代香

先の東日本大震災や口蹄疫、鳥インフルエンザの発生、新燃岳の噴火等の経験を通して、「人と人との絆」の大切さが広く認識された。

本県では、古事記や日本書紀に記されている神話や伝説とともに、地域の暮らしが営まれ、風土をかたちづくり、「地域の絆」が生まれてきた。

地域コミュニティの構築が私たちに課された大きな活動のテーマである。「地域の絆」について大いに語り、宮崎の地から「絆」を発信したい。

全体会終了後、本大会の目玉の一つである「名刺交換会」を開催する。婦人会の協力で、市町村の御当地の郷土料理を持ち寄り、最高の笑顔でおもてなしをする。ぜひ、交流を深めていただきたい。



一般社団法人全国社会教育委員連合 副会長 上條 秀元



一般社団法人全国社会教育委員連合は、8月に行われた民主政策調査会文部科学部門会議のヒアリングの際、以下の4つの趣旨の要望・提案をした。

- ①市町村への社会教育主事の配置等に関する事
- ②公民館の整備を促進・助長すること
- ③学校への社会教育主事有資格者の配置等に関する事
- ④学校へのスクールソーシャルワーカーの配置等に関する事

これらの要望・提案は、本大会のメインテーマ、「地域住民の固い絆による社会教育の振興」と深くかかわるものである。本大会における協議を深めるために、また各市町村において取組を推進するために役立てていただくことを期待する。

宮崎県教育委員会 教育長 飛田 洋

本県が口蹄疫の発生や新燃岳の噴火と大変な災害に直面した折に、九州各県から多大なる支援を賜り、復興に向けた県民の大きな支えとなったことに御礼申し上げる。

我が県の災害においても、そして東日本大震災においても、今ほど人と人のつながり、「絆」が大切にされる時期はなかったように思う。

社会教育に携わる皆様方には、地域の人をつなぎ、地域の絆をつくる役割が一層大きく期待されている。

私も一市民として公職とは別に、地域の公民館の班長を務め、いくつかの市民団体に属しており、その中でいろんな人と出会い、いろんな人の笑顔に触れることを通して、自分を成長させていただいている。

ぜひ、ここ宮崎の地でこれからの人づくり・地域づくりについて熱く語った成果を持ち帰り、これからの活動に生かすとともに、参加の皆様との交流が深まり、絆が深まることを大きく期待している。

